

標準化ロードマップ等の検討について

事務局

1. 背景

- ・ 情報通信分野の標準化政策については、平成24年7月の情報通信審議会答申において、標準化の重点分野を選定するとともに、各分野の標準化の必要性や達成目標等を具体化した標準化戦略マップを策定。
- ・ この答申から3年が経過しており、その後の標準化活動の進展や、新たな技術動向等を踏まえ、新標準化戦略マップの策定が必要。

2. 検討事項

- ① 標準化の重点分野及びロードマップの見直し
- ② その他標準化活動の効果的な推進のために必要な事項 等

3. 検討体制

- ・ 上記の検討にあたっては、委員会参加企業等を中心に実際に標準化活動に携わっている方々からアドホックグループ的にメンバーを募り、最新動向のヒアリングやロードマップ見直し等の作業を実施の上、検討結果を委員会に報告する。
⇒別途事務局より、検討メンバーを募集

4. 検討スケジュール

- ・ 年内に検討に着手し、次回以降の委員会に検討状況を報告しつつ内容のブラッシュアップを行い、委員会報告に反映。

1. 標準化の必要性と達成目標

(記載例)〇〇のために、△△年までに、□□を目指す。

<記載のポイント>

- ・標準化の必要性と達成目標を具体的に記載。

(標準化の効果が具体的にわかるようなイメージ図を添付)

2. 国内外の市場動向

(記載例)〇〇について、△△年に、□□と推定されている。

<記載のポイント>

- ・サブテーマ毎の国内・海外における市場動向及び市場規模を提示。

(市場動向等の統計資料(グラフ等)を添付)

3. 標準化分野に関する基本情報

(1)標準化分野を構成するサブテーマ	(2)標準化に関係する国内団体等	(3)国内外の標準化動向等	(4)目標達成に向けた対応方針
①〇〇技術	△△協議会 □□フォーラム	(国内外における標準化の検討状況を記載)	2018年までに△△方式について〇〇の場に提案
②△△技術	TTC〇〇専門委員会	(国内外における標準化の検討状況を記載)	2019年までに□□システムについて△△の場に提案

<記載のポイント>

- ・個々のサブテーマ毎の標準化動向と今後の対応方針を具体的に記載。

4. 標準化ロードマップ

標準化分野を構成するサブテーマ



<記載のポイント>

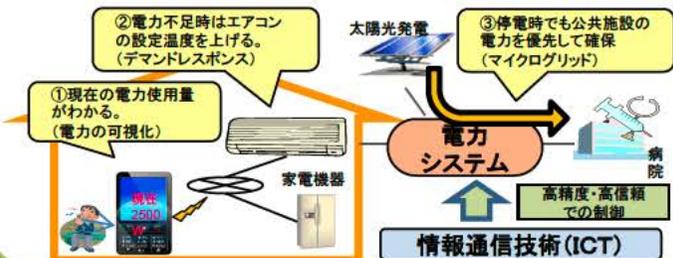
- ・個々のサブテーマ毎の標準化機関等における取組(ロードマップ)を可視化。

2015年(平成27年)頃までの目標達成が見込まれる「**当面推進すべき重点分野**」とそれ以降までを見通した「**中長期的に推進すべき重点分野**」を選定するとともに、各分野の標準化の必要性や達成目標等を具体化した「**標準化戦略マップ**」を策定。

当面推進すべき重点分野 (2015年頃まで)

スマートグリッド

ICTの活用により、電力の需要と供給を最適化する次世代の電力網



デジタルサイネージ

ネットワークに接続したディスプレイ等を使って情報を発信するシステム



次世代ブラウザ

スマートテレビなどテレビ放送とウェブの連携を可能とする次世代のブラウザ規格



中長期的に推進すべき重点分野 (2016年以降)

新世代ネットワーク

インターネットの次の世代を見越し、様々な課題に柔軟に対応できる新しいネットワーク

利用目的を
切替可能



- 【キーテクノロジー】 ネットワーク仮想化技術
- 【キーテクノロジー】 オール光化技術
- 【キーテクノロジー】 光パス・パケット統合技術
- 【キーテクノロジー】 有無線統合ネットワーク技術

1つの物理ネットワーク資源から複数の仮想ネットワーク(スライス)を構築



光技術と無線技術の融合や最適制御技術により低消費電力・大容量の通信を実現